

2022年3月期 決算説明会

FYE2022 Financial Results Presentation



NIPPON SEIKI

2022年 5月 27日

May 27th, 2022

- **2022年3月期 決算概要**

FYE2022 Financial results summary

- **中期成長戦略**

Medium-term Growth Strategy

■ 2022年3月期 決算概要

FYE2022 Financial results summary

■ 中期成長戦略

Medium-term Growth Strategy

Unit: Company

	'21年3月期 FYE2021	'22年3月期 FYE2022
Japan	10	9
Americas	7	5
Europe	3	3
Asia	15	15
Total	35	32

Unit: Million yen

	'21年3月期 FYE2021	'22年3月期 FYE2022	増減率 Increase/Decrease ratio
売上収益 Net sales	216,926	223,621	+ 3.1%
営業利益 Operating profit	3,900	- 4,276	—
税引前利益 Pretax profit	6,199	- 1,399	—
親会社の所有者に帰属する当期利益又は損失 Net income(loss) attributable to owners of the parent	517	- 5,180	—
基本的 1 株当たり当期利益又は損失 Net basic earnings(loss) per share	8.97 yen	- 85.88 yen	—
為替 (US\$) Exchange	106.10 yen	112.39 yen	6.29 円安 Yen depreciation

為替レート（期中平均）実績

Actual exchange rate (average for the period)

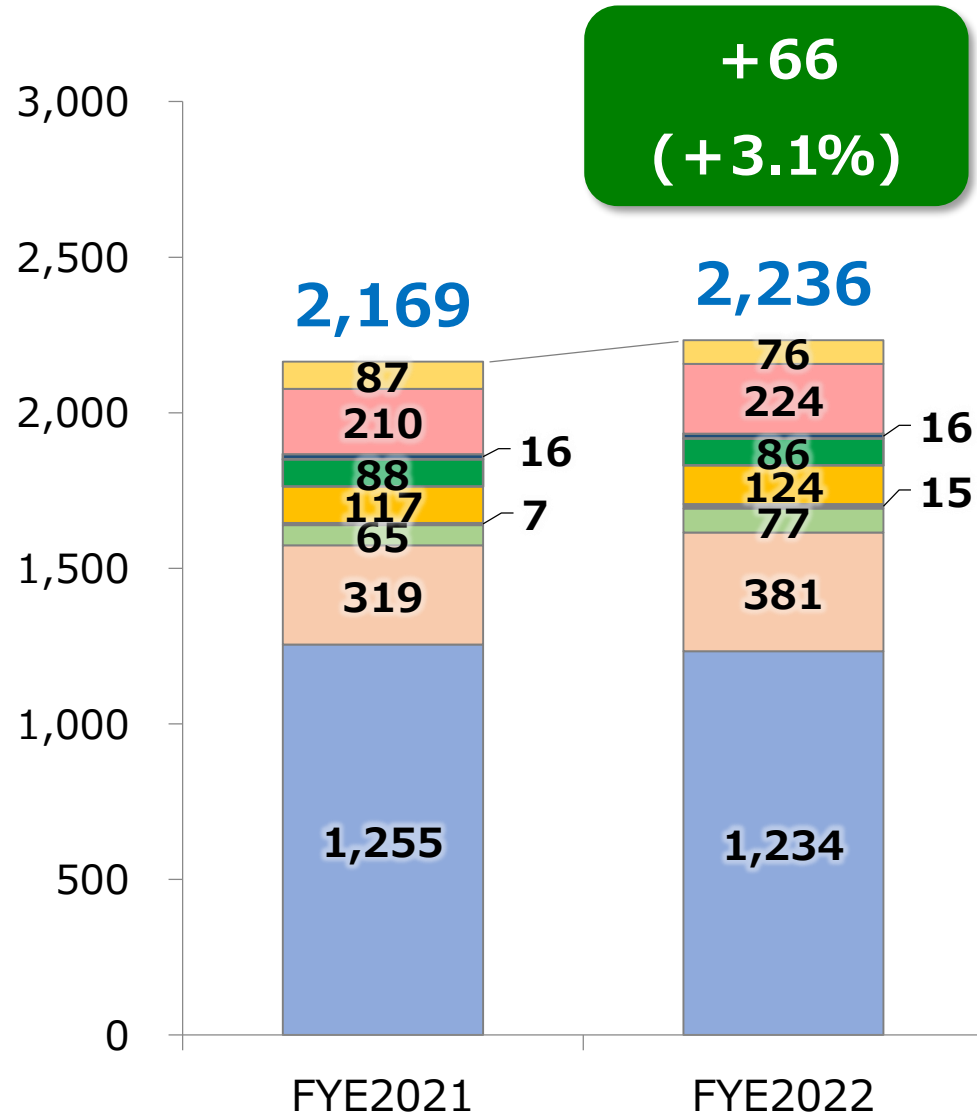
Unit: Yen

		'21年3月期 FYE2021	'22年3月期 FYE2022	レート差 Rate Increase/Decrease	増減率（-は円高） Increase/Decrease ratio (Minus is the yen appreciation)
USドル	USD	106.10	112.39	6.29 円安 Yen depreciation	+ 5.9%
ポンド	GBP	138.74	153.52	14.78 円安 Yen depreciation	+ 10.7%
ユーロ	EUR	123.76	130.55	6.79 円安 Yen depreciation	+ 5.5%
バーツ	THB	3.42	3.44	0.02 円安 Yen depreciation	+ 0.6%
元	CNY	15.68	17.51	1.83 円安 Yen depreciation	+ 11.7%

為替感応度：ドル1円の変動につき、営業利益で0.89億円/年

Exchange rate sensitivity : 89 million yen/year in operating profit for every 1 yen change in the dollar.

Unit: 100 Million yen



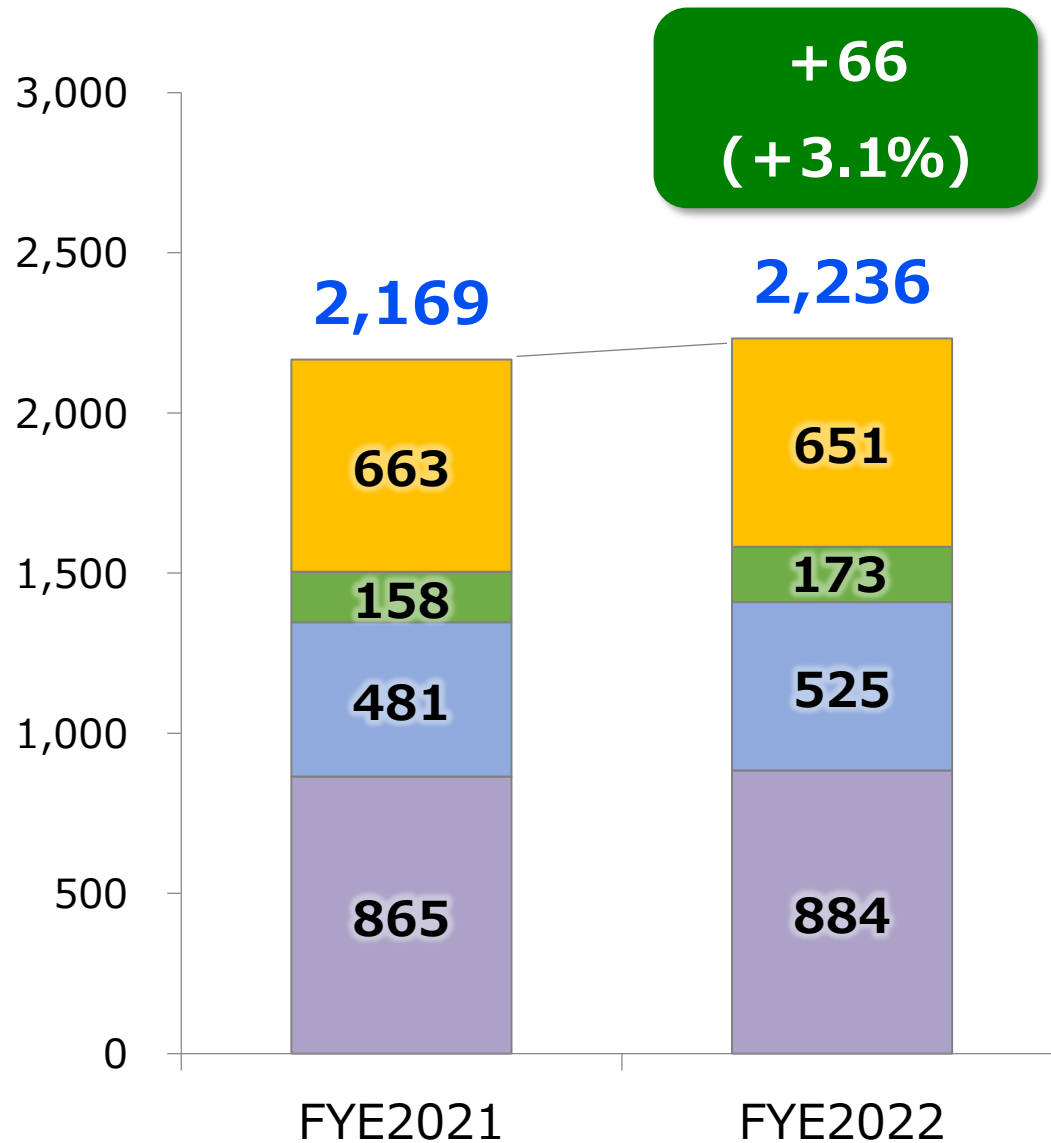
+66
(+3.1%)

主な増減要因
Main reasons for increase/decrease

◇ 車載部品 (Automotive)	+ 6 0
二輪計器 (Motorcycles)	+ 6 1
汎用計器 (Generic)	+ 1 2
四輪計器 (Automobiles)	- 2 1
◇ 民生部品 (Consumer)	+ 6
◇ 自動車販売 (Car sales)	+ 1 4

- その他 : Others
- 自動車販売 : Car sales
- ディスプレイ : Display
- 樹脂コンパウンド : Resin Compound
- 民生部品 : Consumer
- 車載EMS : Automotive EMS
- 汎用 : Generic
- 二輪 : Motorcycles
- 四輪 : Automobiles

Unit: 100 Million yen



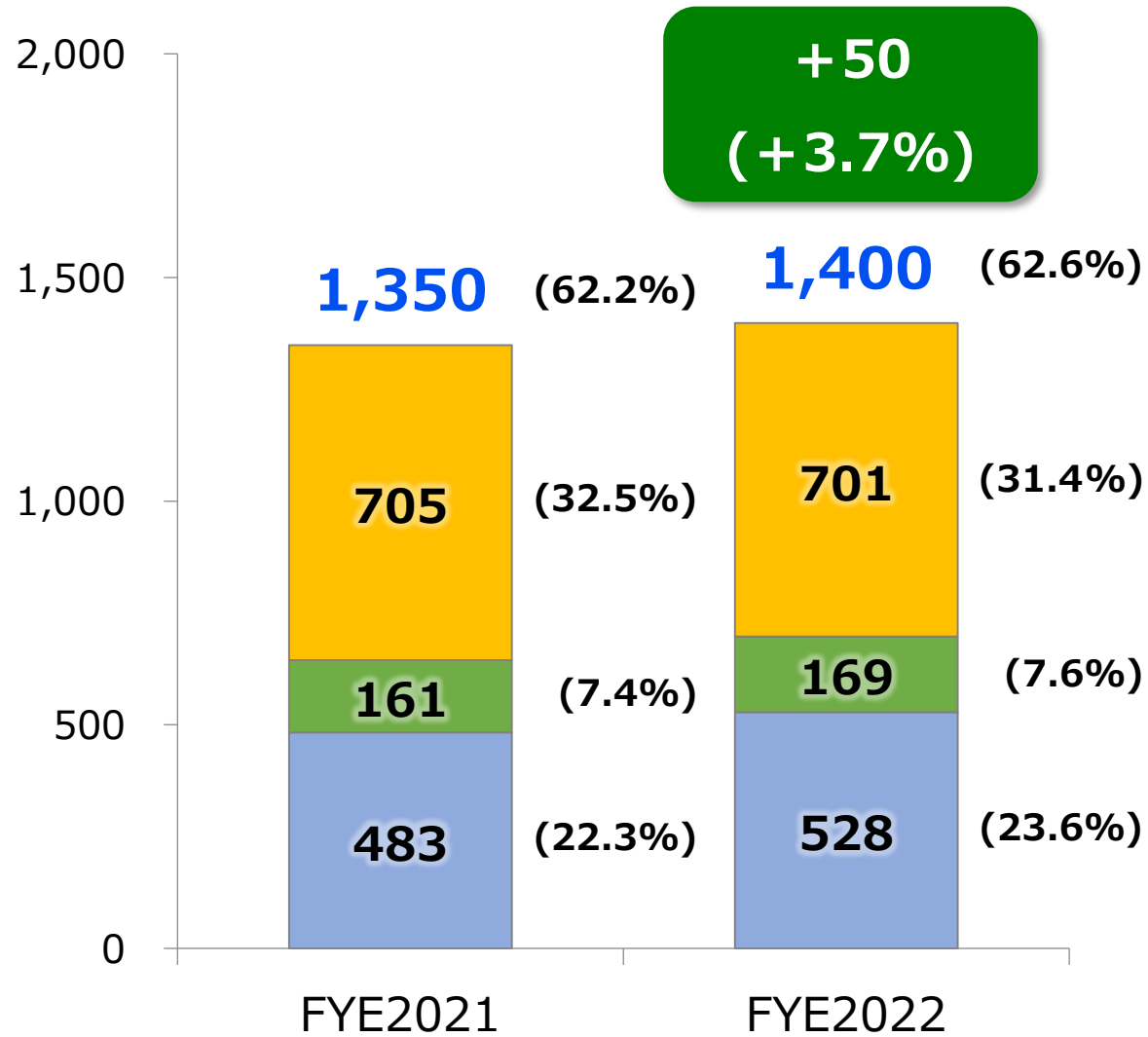
主な増減要因

Main reasons for increase/decrease

◇ Japan		
二輪計器	Motorcycles	+ 3 2
自動車販売	Car sales	+ 1 4
四輪計器	Automobiles	- 3 3
◇ Americas		
四輪計器	Automobiles	+ 3 0
◇ Europe		
四輪計器	Automobiles	+ 1 4
◇ Asia		
二輪計器	Motorcycles	+ 1 5
四輪計器	Automobiles	- 3 3

- Asia
- Europe
- Americas
- Japan

Unit: 100 Million yen



主な増減要因

Main reasons for increase/decrease

◇ **Americas**

STELLANTIS・BMW向けが増加

Increased sales to STELLANTIS and BMW

◇ **Europe**

Mercedes-Benz・Audi向けが増加

Increased sales to Mercedes-Benz and Audi

◇ **Asia**

GM・マツダ向けが減少

Decrease in sales to GM and Mazda

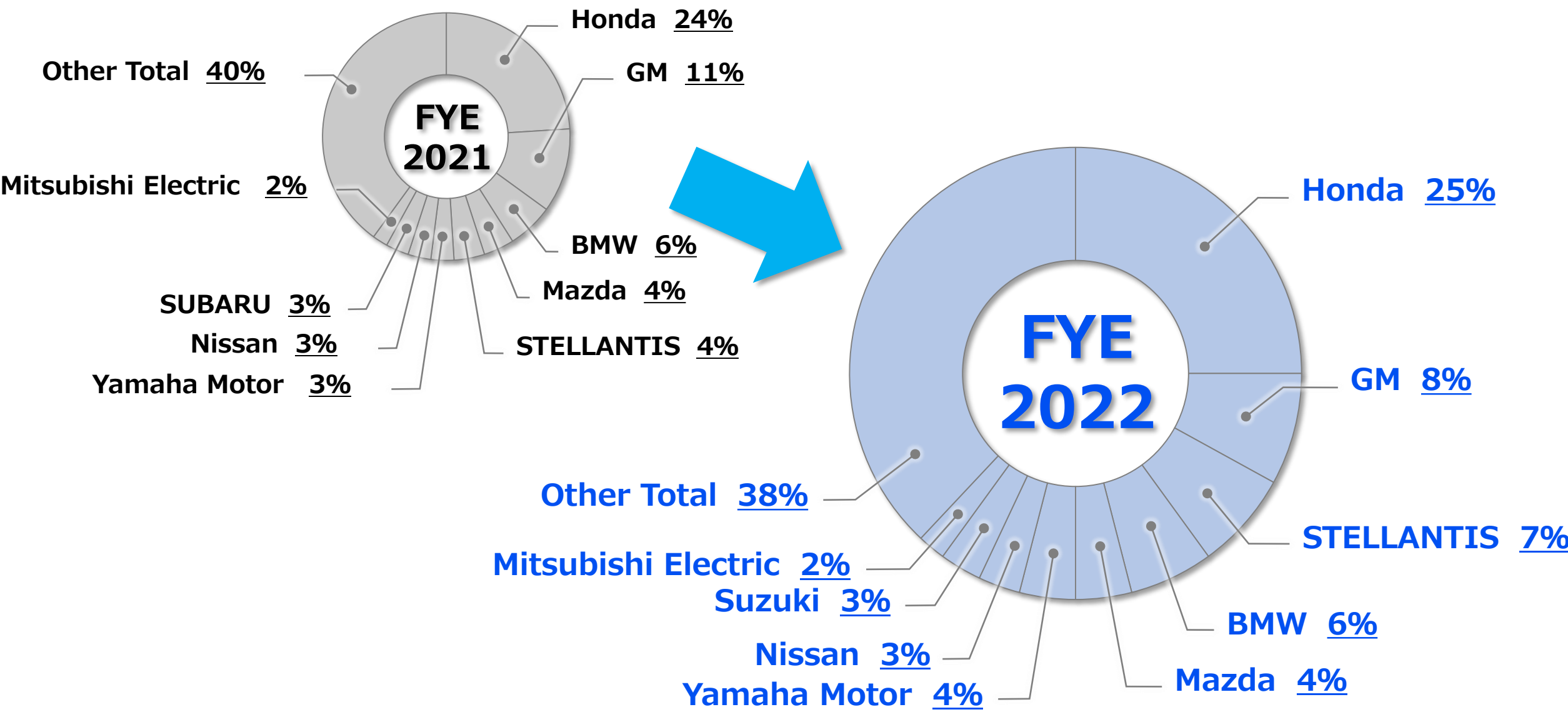
■ Asia

■ Europe

■ Americas

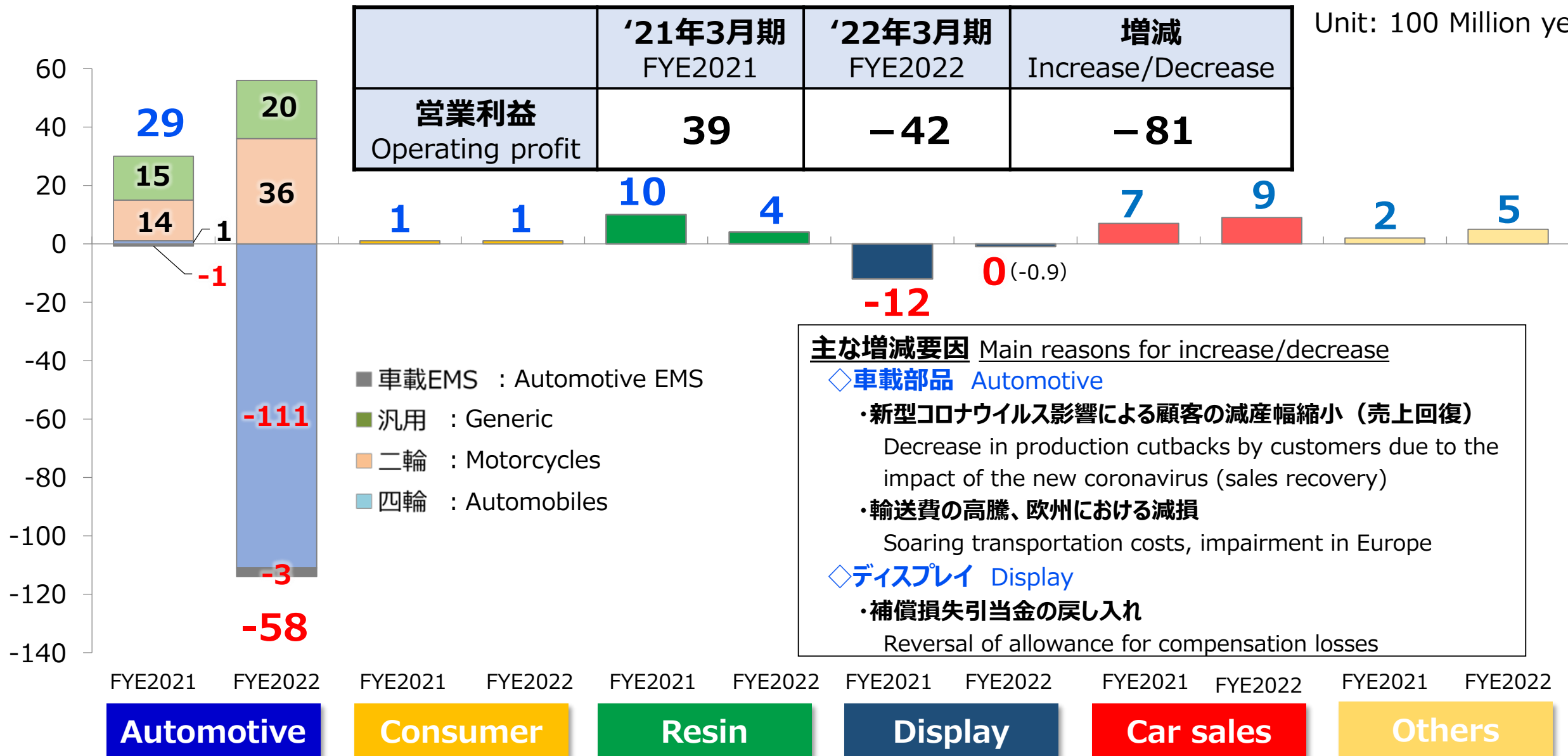
※ () 内は連結売上高に占める海外売上高の割合

Figures in parentheses indicate the ratio of overseas sales to consolidated sales.



Operating profit by Business Segment

Unit: 100 Million yen

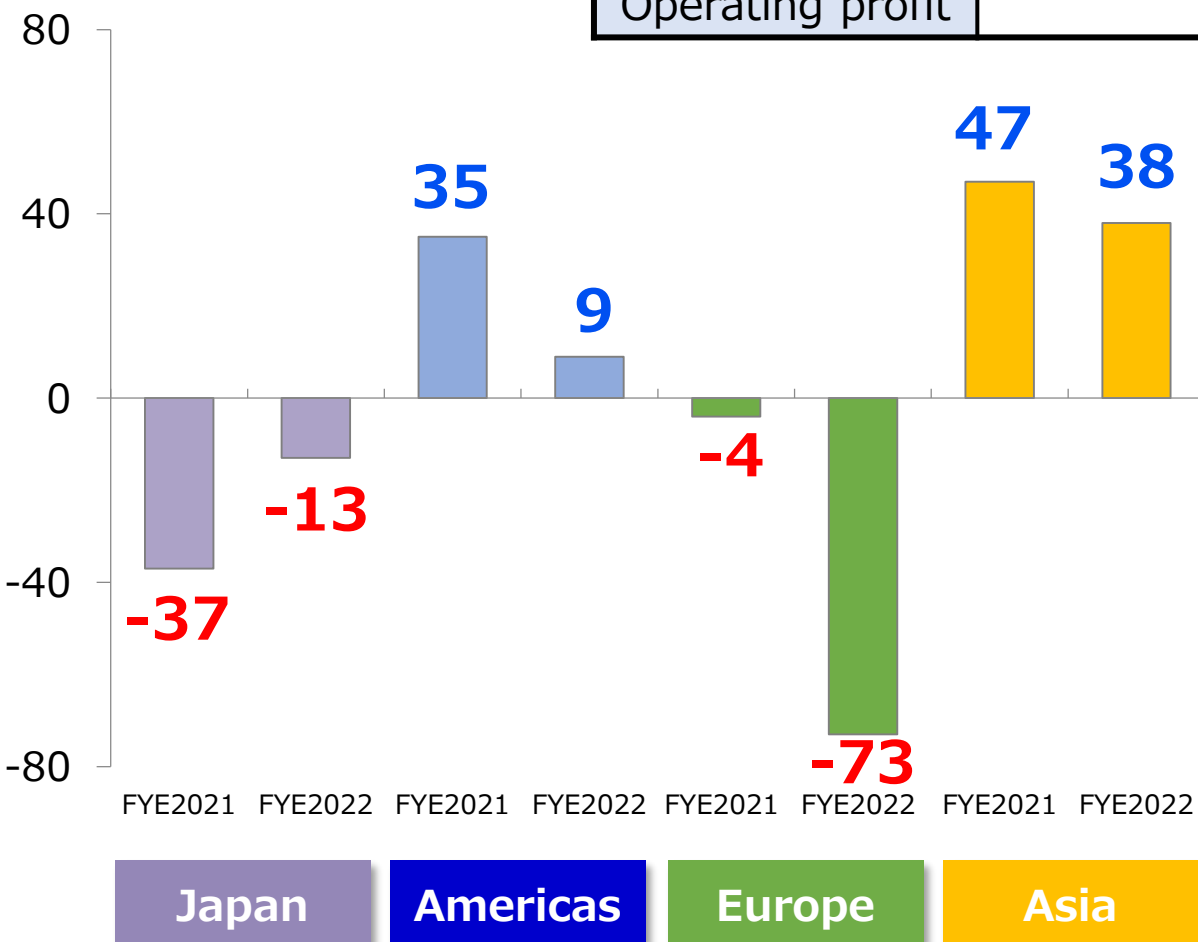


所在地別 営業利益

Operating profit by Geographic Segment

	'21年3月期 FYE2021	'22年3月期 FYE2022	増減 Increase/Decrease
営業利益 Operating profit	39	-42	-81

Unit: 100 Million yen



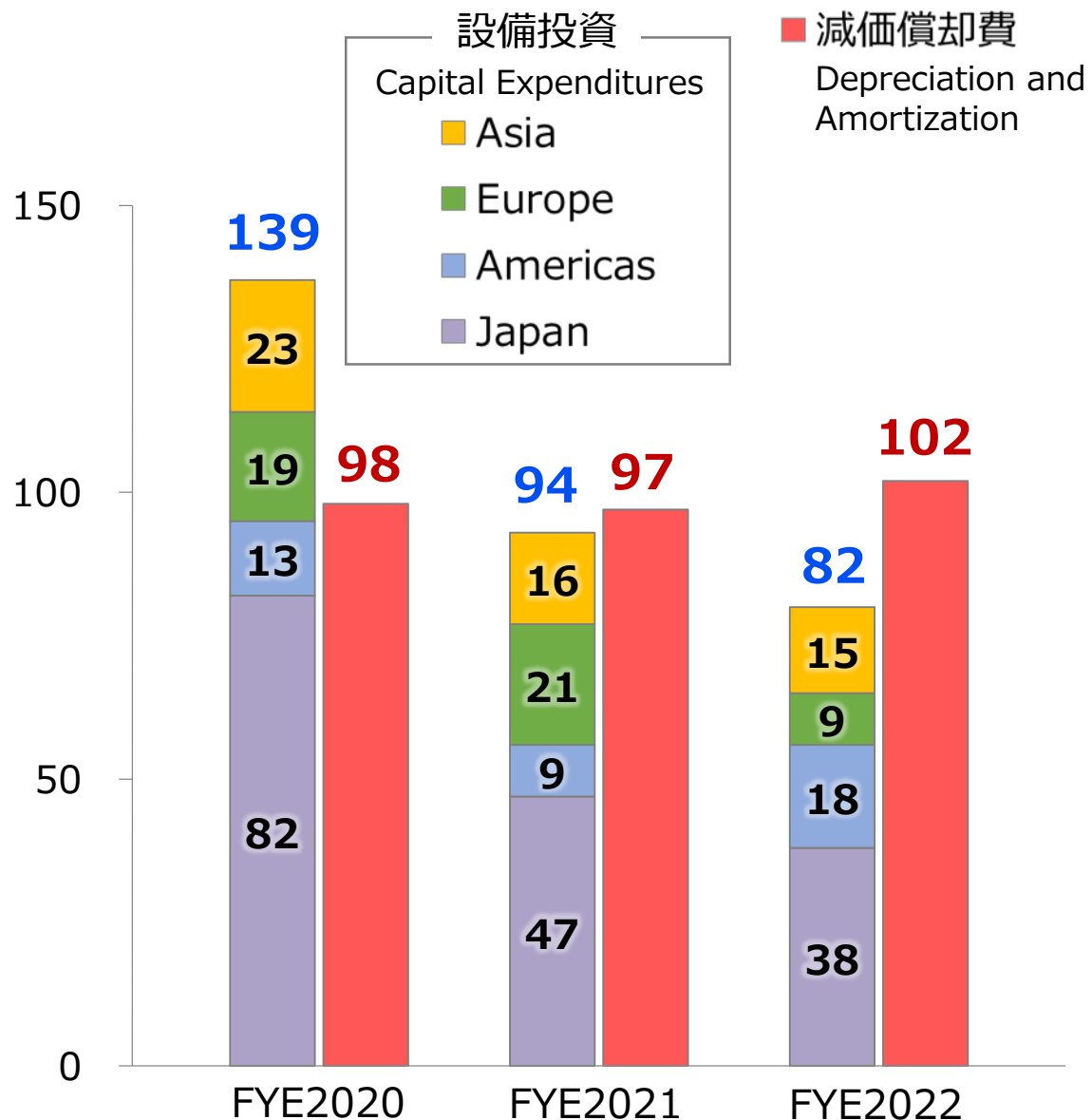
主な増減要因 Main reasons for increase/decrease

- ◇ **全地域** All regions
 - ・グループ内役務提供の見直し
Review of intra-group service offerings
- ◇ **中国とインドを除く各地域** Each region excluding China and India
 - ・新型コロナウイルス影響による顧客の減産幅縮小（売上回復）
Decrease in production cutbacks by customers due to the impact of the new coronavirus (sales recovery)
- ◇ **日本** Japan
 - ・輸送費の高騰
Soaring transportation costs
- ◇ **欧州** Europe
 - ・減損損失の計上
Impairment loss

設備投資額、減価償却費

Capital Expenditures, Depreciation and Amortization

Unit: 100 Million yen



【地域別内訳】

Breakdown by Region

(主な投資内容)

(Major Investments)

Asia 15.9 億円

TNS(タイ) : 5.4 億円 (新機種対応)

NSIP(インド) : 3.5 億円 (新機種対応)

Europe 9.4 億円

UK-NSI(イギリス) : 5.9 億円 (新機種対応)

Americas 18.4 億円

NSMX(メキシコ) : 10.3 億円 (新機種対応)

NSII(アメリカ) : 5.5 億円 (新機種対応)

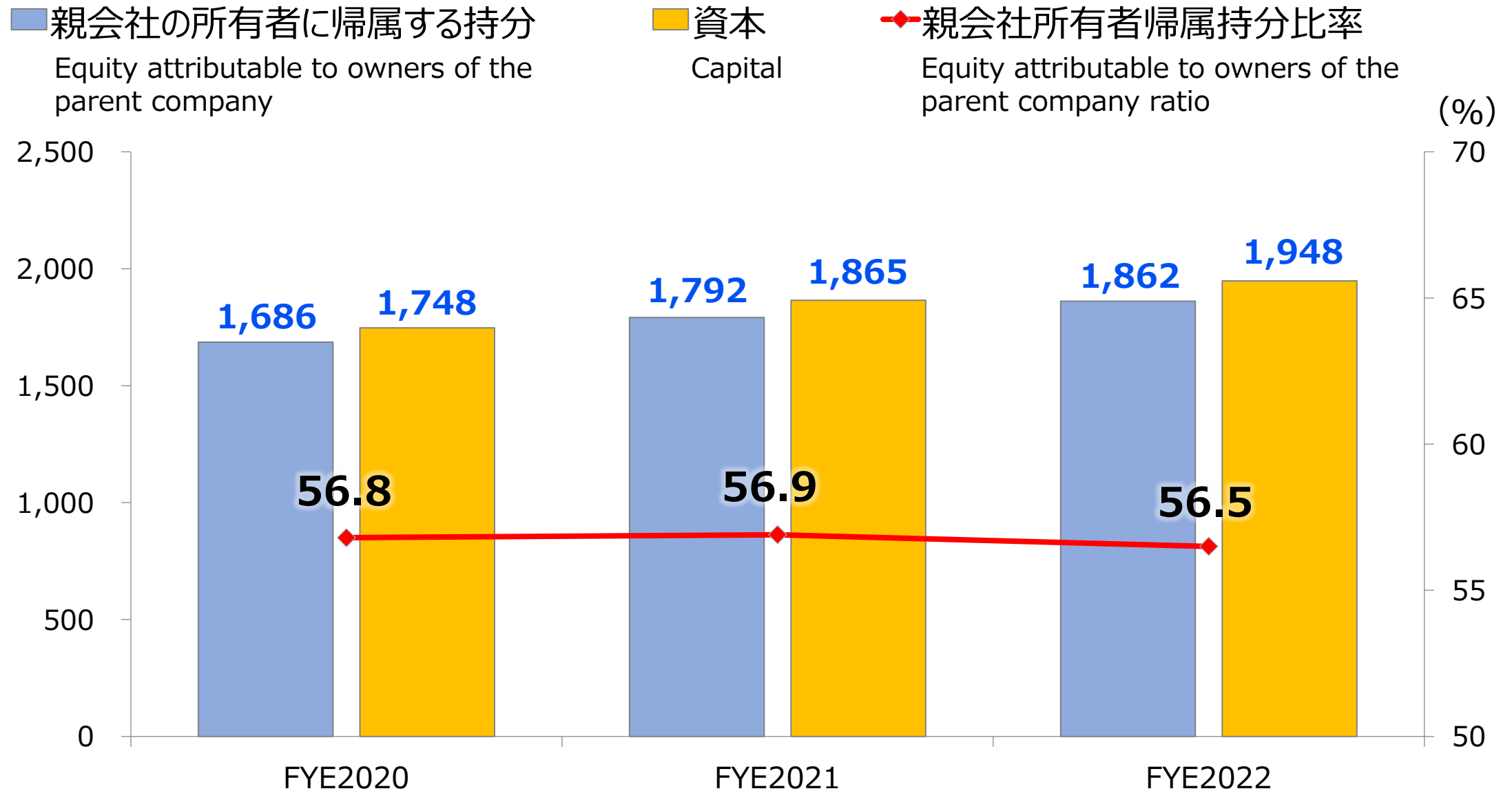
Japan 38.3 億円

本社 : 23.4 億円 (新機種対応)

自己資本額、自己資本比率

Own capital amount, Own capital ratio

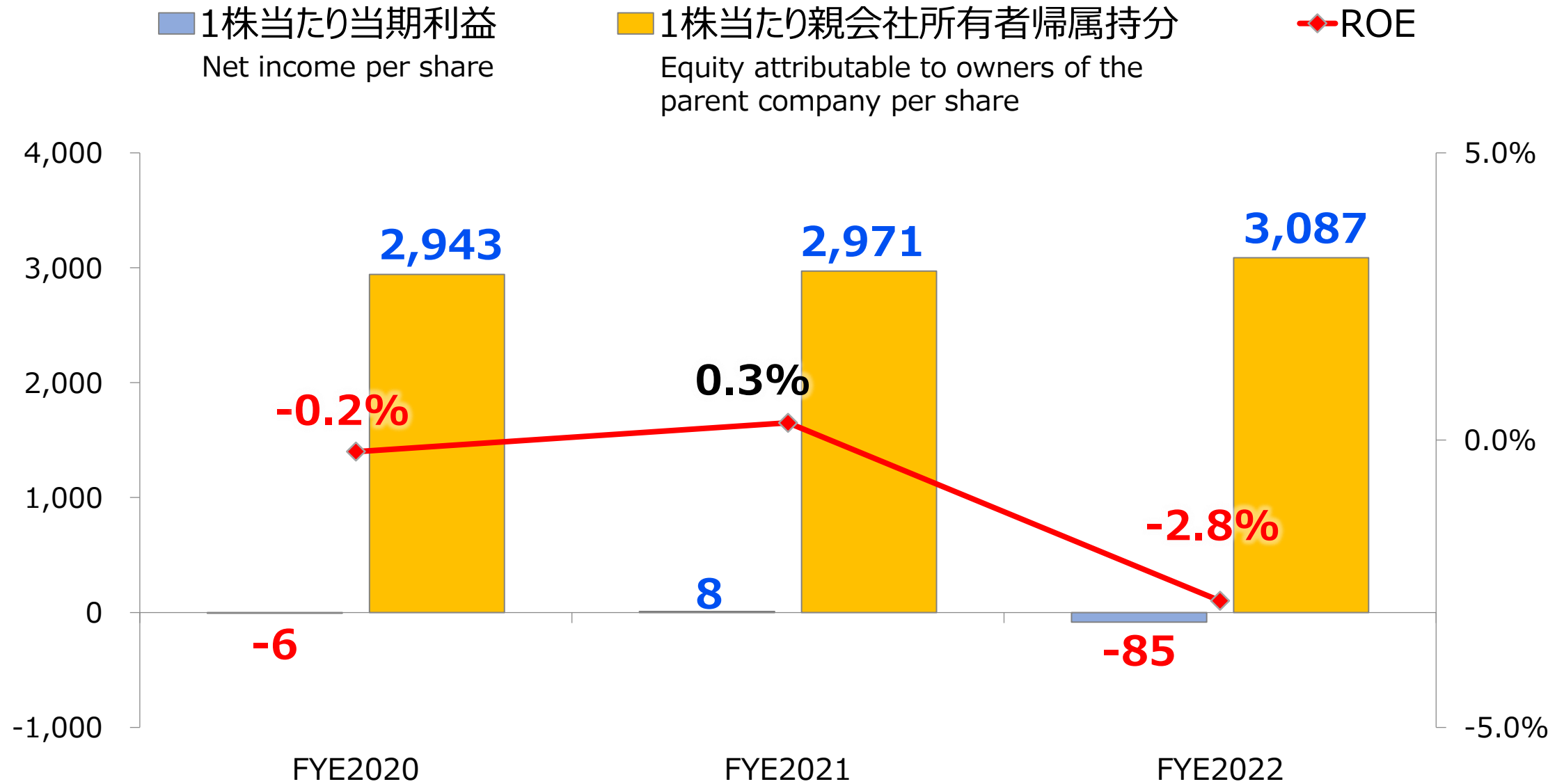
Unit: 100 Million yen



ROE (株主資本利益率)

Return on equity

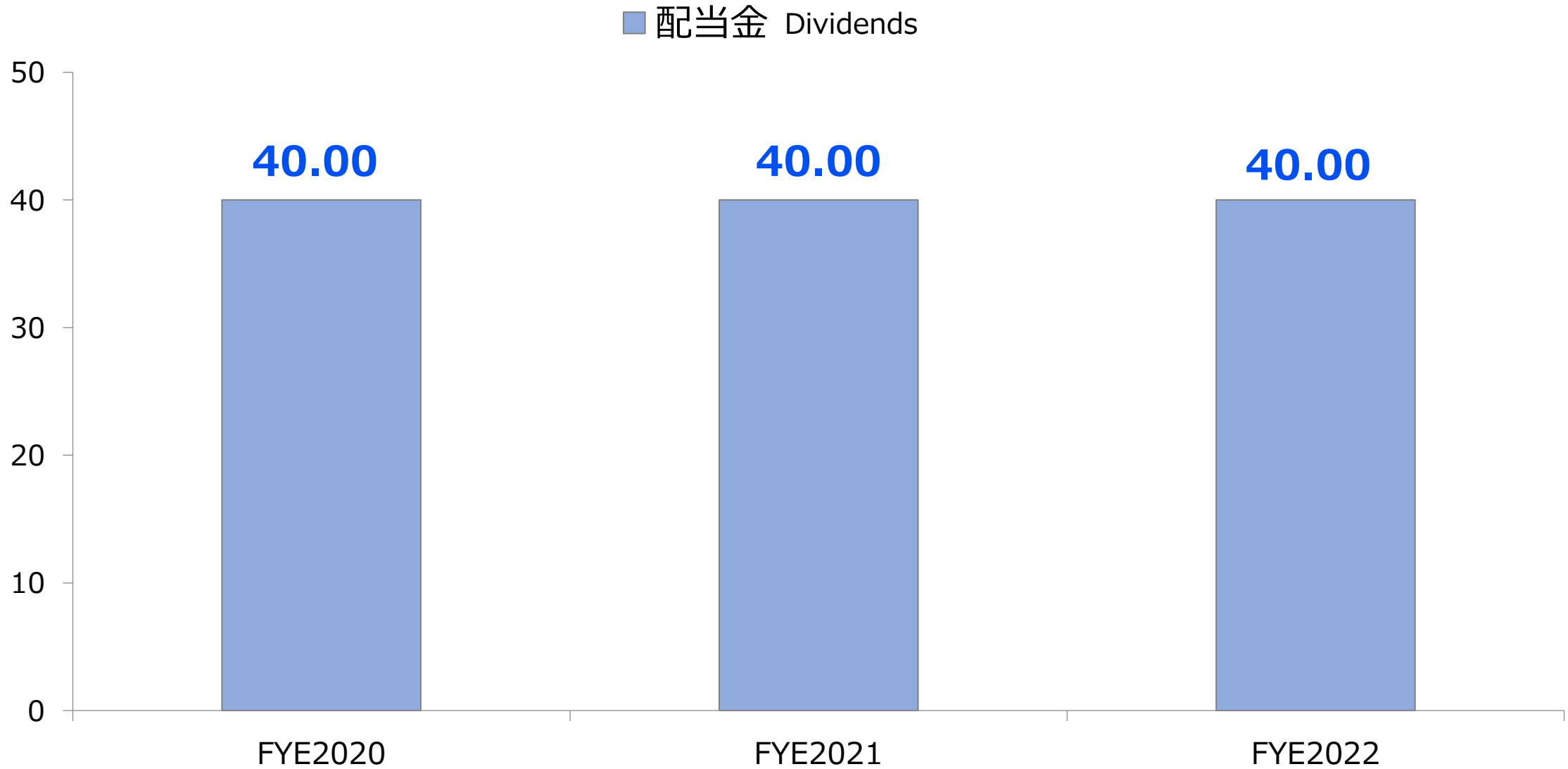
Unit: Yen



株主還元 配当 (連結)

Shareholder return, Dividends (consolidated)

Unit: Yen



Unit: Million yen

	'23年3月期（今期予測） FYE2023（Forecast for this term）
売上収益 Net sales	247,000
営業利益 Operating profit	2,000
親会社の所有者に帰属する当期利益 Net income attributable to owners of the parent	700
基本的 1株当たり当期利益 Net basic earnings per share	11.61 yen
為替（US\$） Exchange	110.00 yen

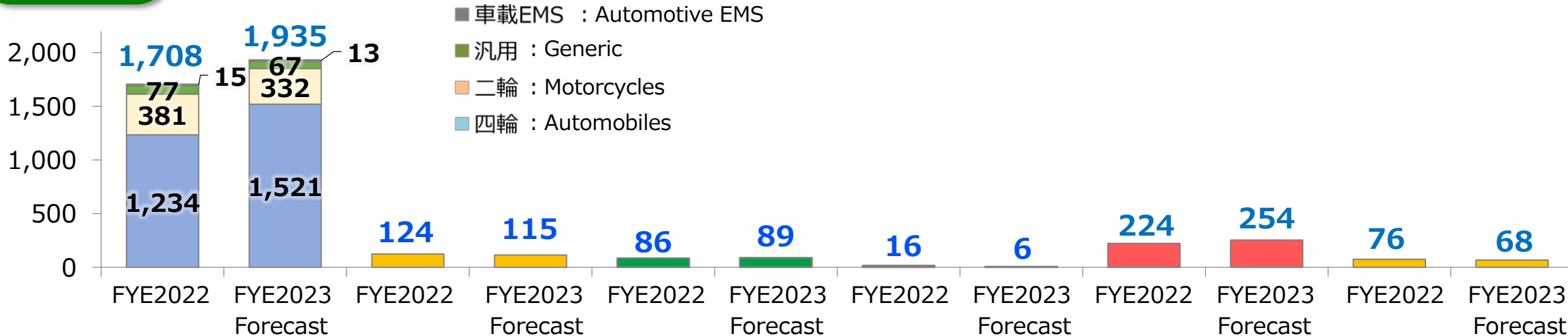
業績予想 (事業別)

Year forecast (by business segment)

売上収益

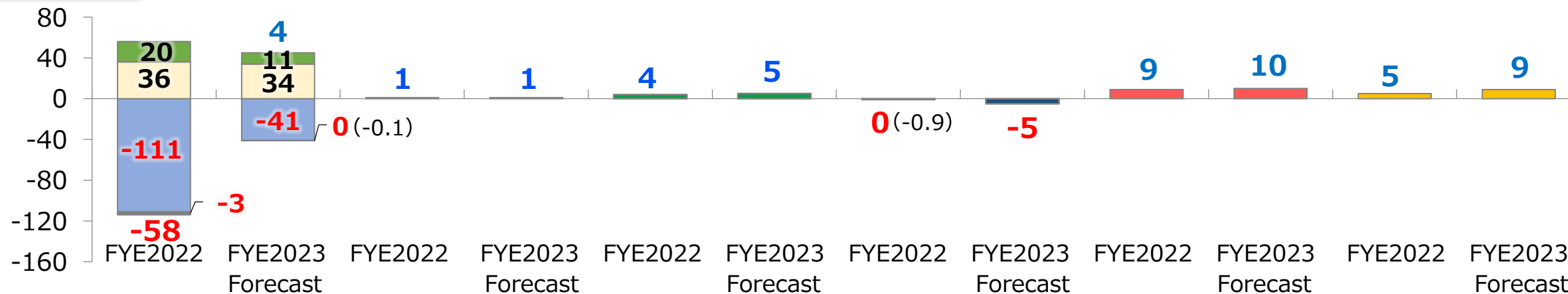
Net sales

Unit: 100 Million yen



営業利益

Operating profit



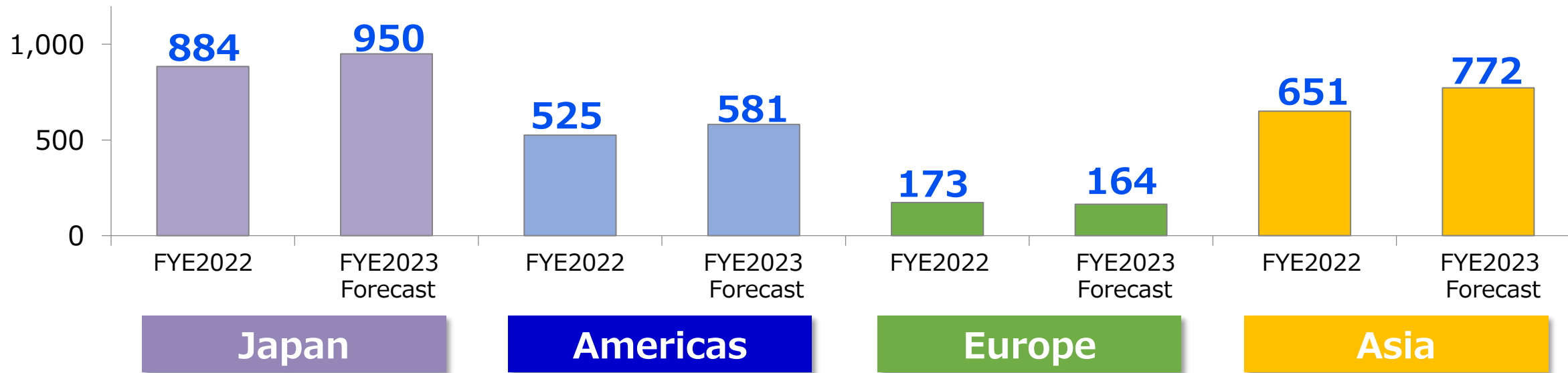
業績予想 (所在地別)

Year forecast (by Geographic Segment)

売上収益

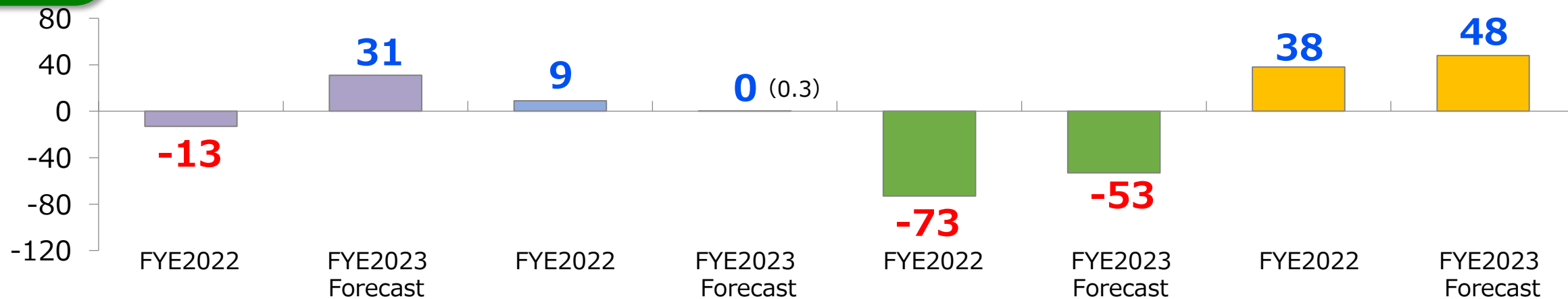
Net sales

Unit: 100 Million yen



営業利益

Operating profit



- **2022年3月期 決算概要**

FYE2022 Financial results summary

- **中期成長戦略**

Medium-term Growth Strategy

■ 2022年3月期 決算概要

FYE2022 Financial results summary

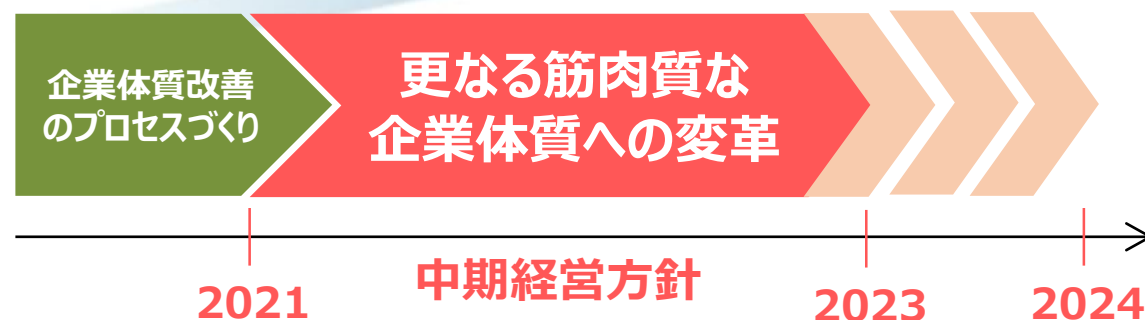
■ 中期成長戦略

Medium-term Growth Strategy

経営ビジョン

日本精機グループは、**技術**により、世界の人々に安心・安全、そして、感動を提供する**トータルソリューションカンパニー**を目指します

Facing the future
Challenge & Change
for 2030



半導体ひっ迫による顧客の生産調整、COVID-19による中国ロックダウン、ロシアのウクライナ侵攻等の環境変化を踏まえ、中期経営目標の達成は1年延伸し、2023年度 ⇒ 2024年度とする

中期経営方針

車載事業の経営基盤強化と、サービスを含む事業間連携による新しいビジネスの創造

1. 収益力の強化
2. 経営の効率化
3. 新規ビジネスの実現

2024年度目標

売上高 **2,700** 億円
営業利益 **135** 億円 (5.0%)

NSグループの強み

高品質/高信頼性、多様な技術の組み合わせ、光学設計技術、
 パーチカルな開発と生産連携、グローバルでの製品供給能力、
 高精度な部品製造技術、ITリソースのグループ内保有

外部環境分析

ウイズ/アフターコロナ

CASEの進展

技術の進化

SDGsの社会要求

内部環境分析

調達コストの上昇

物流費の高騰

従業員平均年齢の上昇

売上拡大

- ・HUDビジネスの拡大
- ・統合コックピット受注・拡販活動
- ・部品加工ビジネス拡大
- ・新製品、新規サービスの事業展開

収益性の向上

- ・設計開発拠点の強化
- ・開発中機種へのVAVE推進
- ・現地生産、内製化、現調推進による
生産および物流コスト最小化

生産性の向上

- ・RFQ前の原価低減活動の定着
- ・人事制度改革によるモチベーションアップ

環境変化に強い**筋肉質経営**

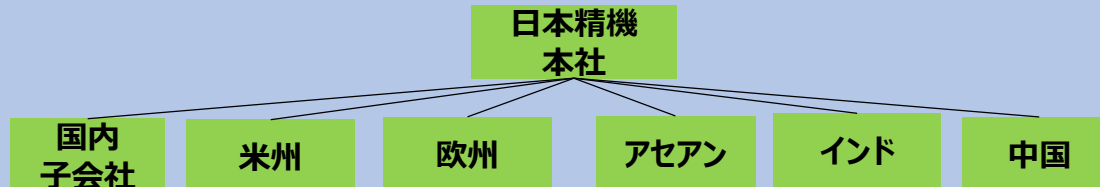
本社組織再編

- ・事業本部創設による責任区と
事業戦略の明確化

経営効率向上

- ・関係会社とのシェアード化による間接業務効率化
- ・グループSG&Aの低減推進

地域再編/ガバナンス力の向上



各地域は本社の事業戦略・機能別戦略に従い、現地に最適化した地域戦略を立案/実行する

経営目標達成
 グループビジョン達成

連結営業利益の拡大

売上拡大

- ・HUDビジネスの拡大
- ・統合コックピット受注・拡販活動
- ・部品加工ビジネス拡大
- ・新製品、新規サービスの事業展開

収益性の向上

- ・設計開発拠点の強化
- ・開発中機種のVAVE推進
- ・現地生産、内製化、現調推進による生産および物流コスト最小化

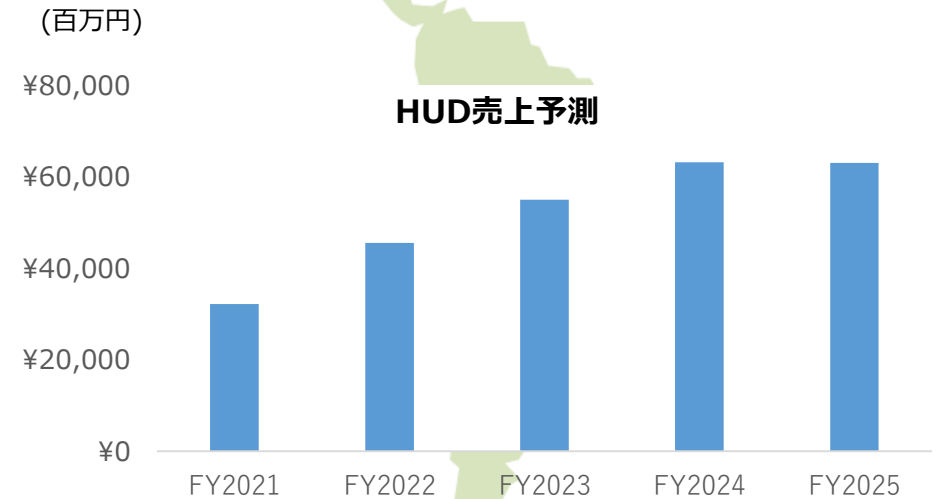
サステナビリティ

- ・サステナブルな社会実現に向けて

主要市場での現地生産および現地調達を推進



1. ポーランド工場立上によりEU域内での設計～製造～販売の体制を拡充し顧客満足度の向上
2. 欧州顧客に対する受注増加を見込んで現地生産キャパの向上
3. コア部品の現調化、内製化を図りコスト競争力向上およびBCP強化

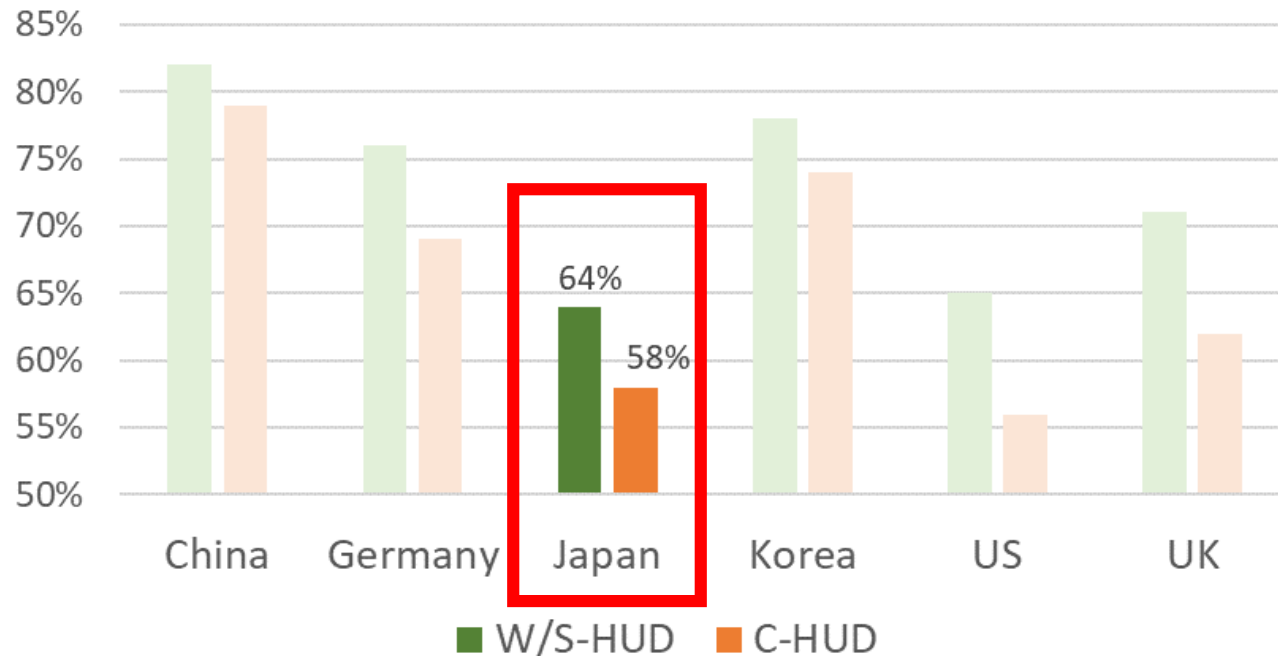


日本国内でのHUD認知度向上に向けたエンドユーザーへの訴求

現状の課題

- HUDを知らない、HUD自体が分からない HUDを普及させる上で認知UPが不可欠

HUD Awareness 2019



日本市場は世界全体から見て、HUDの認知度は低い状態

HUDが普及する仕組み作りが必要

HUD普及プロジェクトチーム発足

認知UPはHUDを普及させる「第一歩」と位置づけ
軽自動車/小型車向けの“後付けHUD”の
自社開発・販売を企画中

HUD知名度・手に入れやすさを向上し、
HUD普及につなげる

日本国内でのHUD認知度向上に向けたエンドユーザーへの訴求



ヘルメットメーカーSHOEIとコラボした
ヘルメット内蔵用HUDを開発

HUDの安全性・快適さをエンドユーザー(一般ドライバー)へPR
搭載車種拡大を図り、交通事故低減に貢献する

アルプスアルパイン協業による拡販活動、共同改善を成果へつなげていく

共同拡販活動

両社協業のポテンシャルを
お客様に理解頂け、
これまで単独では得られなかった
情報、引き合いを受領中

・2輪向け共同開発商材の受注決定



・協業による統合コックピット受注活動

- ①. 26MYに向けた、OEMを巻き込んだシステム検討
- ②. 30MYに向けた、OEMを巻き込んだ次世代コックピット共創活動
- ③. 北米OEMへの共同拡販活動

共同改善活動

・金属3Dプリンターを使った HUD向け金型作成 ... 3Dプリンターにて最適な金型冷却回路を作成、
成型時間短縮

・クリーンルーム設備技術共有 ... オプティカルボンディング向けクリーンルーム設備に
アルプスアルパイン工法の要素を適用し、
設備費用低減可能

NSの強みである既存技術の活用と光学技術の進化により、外販ビジネスを拡大

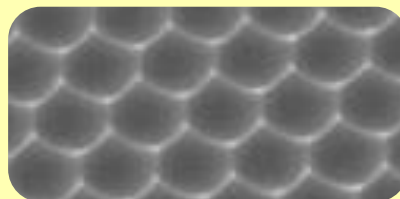
■ 次世代自動車を見据えた光学部品の取り組み

HUD厚肉レンズ
ハイサイクル金型化



発展領域

レンズアレイUV転写
(光の制御、拡散配光)



光学レンズ
設計

既存技術

厚肉レンズ
成型

精密金型
加工

省人化
(自動検査/梱包)

海外への技術展開
(現調化)

外販向け新商材への展開

さらなる技術進化により、高付加価値商材を
発掘・拡販、外販ビジネス拡大による収益力向上

ウェルカムライト



ロードプロジェクション



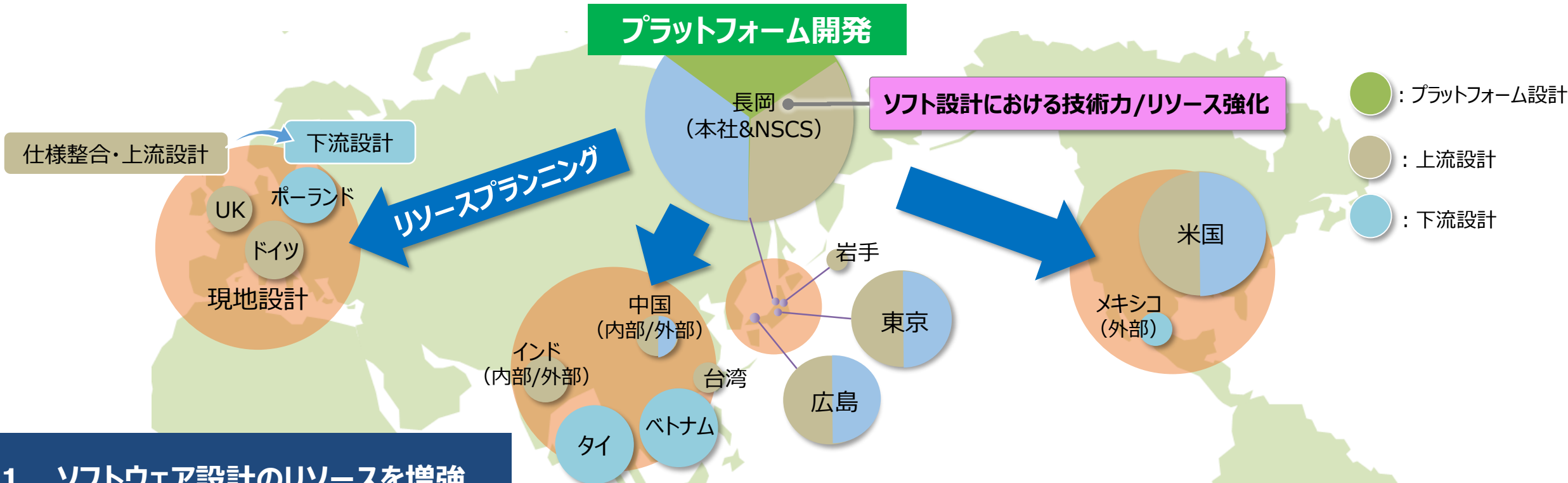
HUD事業の収益力向上

既存技術を活用した加工内製化と
効率化によるコストダウン

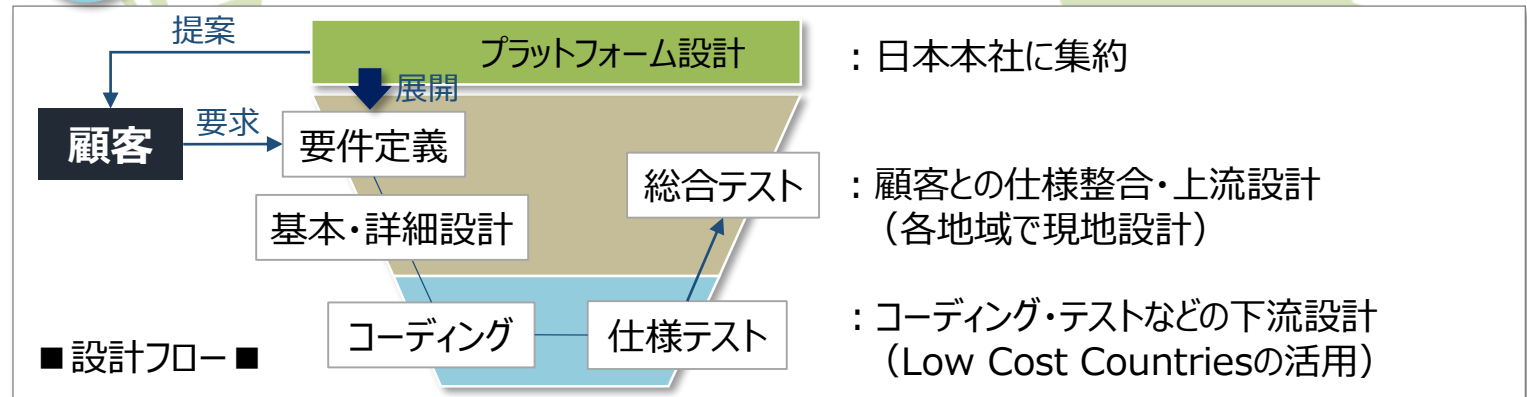
様々な切り口で新製品・新規サービス事業の開発を行っていく



売上拡大に向けたリソースの強化とコスト低減の両立



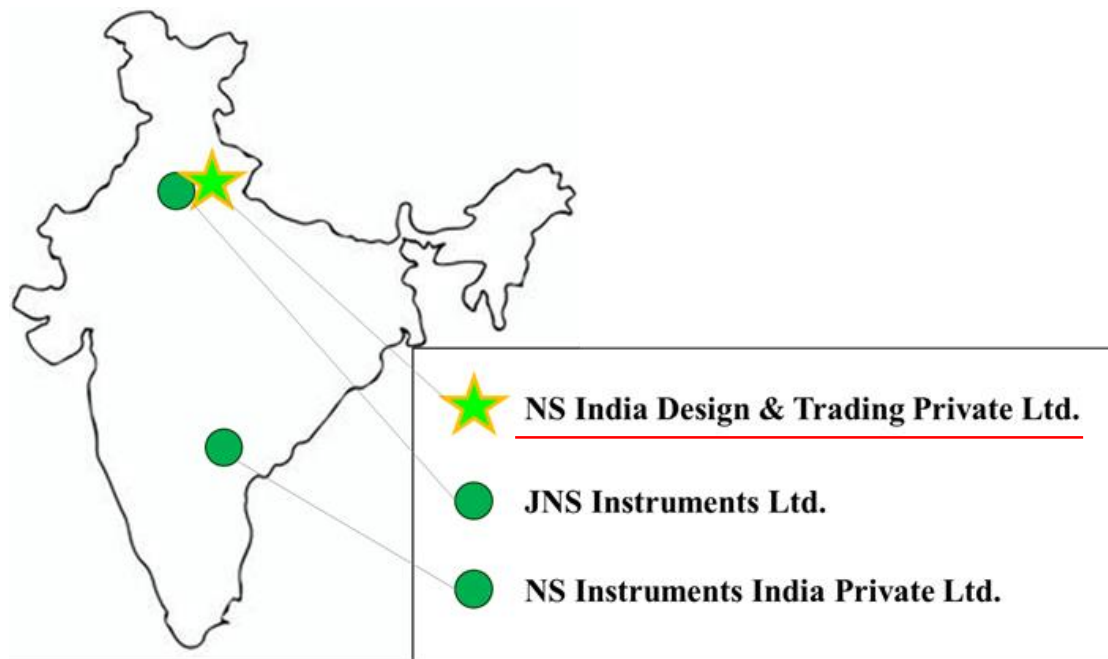
1. ソフトウェア設計のリソースを増強
2. 2輪メータ向け設計拠点はタイに加えインドを強化
3. 積極的にLCCを活用し全体設計費用は抑制



※NSCS : NS・コンピュータサービスの社内略称
(主要事業 : ソフトウェア開発・販売)

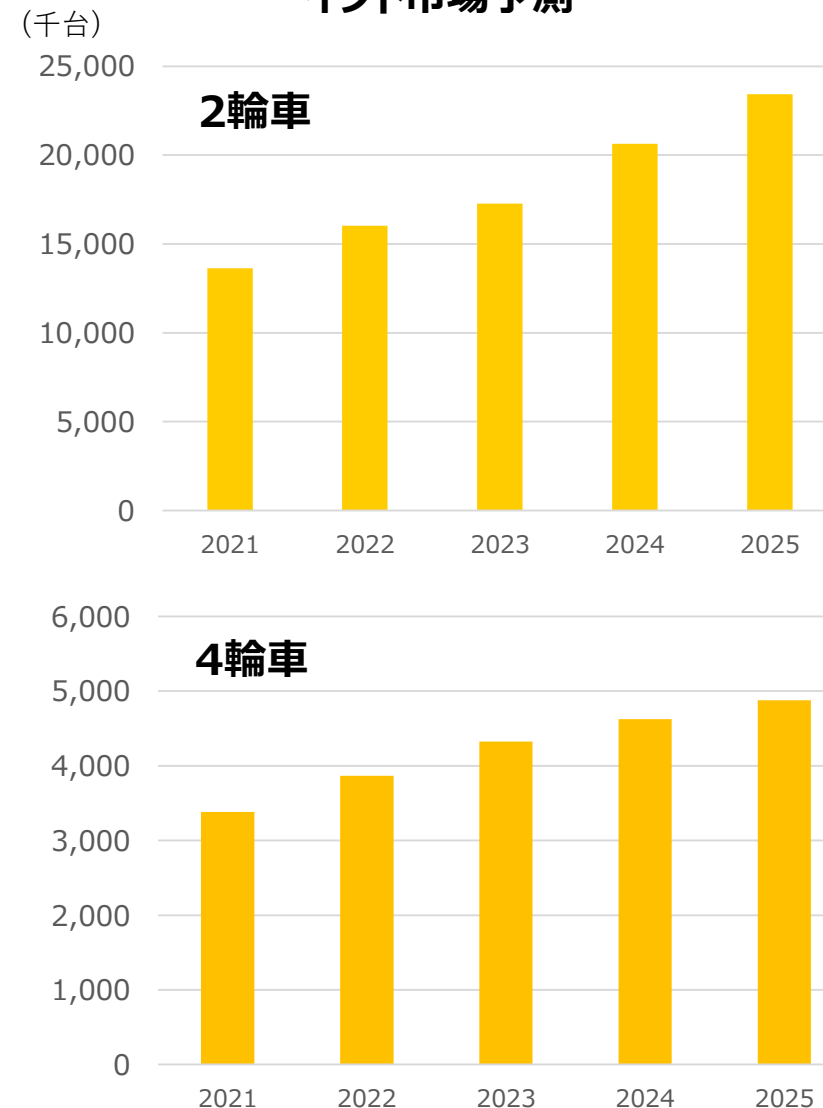
インドにおける需要拡大を見据え、設計開発機能を充実化

インド設計新会社



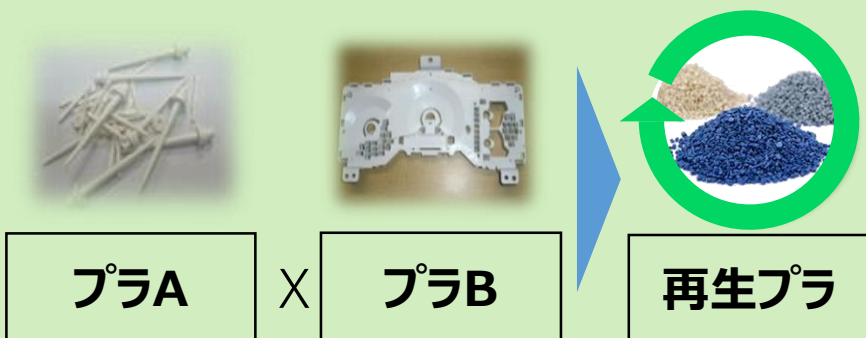
今後、2輪車/4輪車市場の更なる拡大が見込まれるインドにて、対顧客パフォーマンス・顧客満足度を高めつつ、設計の現地化によるコスト競争力向上を図る

インド市場予測



環境負荷低減の取組みを強化

異種プラスチック材リサイクル 技術開発の開始



カーボンニュートラル実現に向けた取組み



1. 省エネ活動推進
2. グリーンエネルギー
自家発電
3. グリーンエネルギー
の購入

国内/海外拠点でのグリーンエネルギーの導入



多様なステークホルダーへの貢献を強化

子ども向け **プログラミングスクール** 開校 —地域人材育成事業—



地域社会・行政と共に新しい教育環境を提供。ICTを活用し、子どもたちのITスキル習得の場に。

IT技術者のタマゴを育成し地域および社会のIT産業を活性化。

長岡造形大学との **産学連携授業** による地域協創



日本精機の技術を活用した学生達のオリジナル製品の考案を目的とした授業を実施中。

アイデアを具現化するための考え方の理解や、ものづくりの現場に対する学びを後押しする。

ホワイト500 認定取得 & にいがた健康経営推進 **県知事賞**



従業員の健康が業務の生産性向上につながるの考えのもと健康経営施策を推進。

『健康経営優良法人 ホワイト500』認定と、にいがた健康経営推進 県知事賞を受賞。

ご注意

業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみにより、依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。

Your Safety, Our Delight.

安全と安心に満ちた未来のために

